

森林の魅力で 多彩な催しで 体感

オホーツク森林フェス

緑の魅力を知ってもらおうと、7月11・12・13の3日間、駒場北4丁目公園やこまば木の広場で第1回オホーツク森林フェスティバル（実行委主催）が開かれ、多くの市民らでにぎわった。

フェスでは森林ウォークを始め、森歩きフアッション・森歩き面白弁

当の各コンテストや森のミニ演奏会、森のアート展など森林に関するさまざまな催しが連日、開かれた。

演奏会ではケーナ愛好家の笠谷俊一さんがオリジナル曲「少年は翔る」^{かほ}「風夏草」など7曲を披露。森歩きフアッションコンテストは東



笠谷さんが演奏するケーナ



農大生（両左右）に選ばれたオシヤリな人

農大網走の大学生、丸橋隆弘さんと澤桜さんが最もおしゃやかな人にも選ばれた。また、面白弁当には秋の駒場公園をイメージした「きのこちらし」弁当を作った佐藤貴子さん（公務員）が選ばれた。3人には鈴木順策実行委員長（写真中央）から素敵なプレゼントが贈られた。